

統合幕僚監部 報道発表資料

JOINT STAFF PRESS RELEASE

(お知らせ)

25. 8. 23
統合幕僚監部

平成25年度広域医療搬送訓練について

自衛隊は8月31日（土）、平成25年度広域医療搬送訓練に参加します。

記

1 目 的

南海トラフ巨大地震を想定し、愛知県、三重県及び和歌山県を被災地とした内閣府が計画する広域医療搬送訓練に参加して、災害派遣時の各種行動及び関係機関との連携要領を演練する。

2 主要演練事項

- (1) 長距離患者搬送を含む広域医療搬送に係る空輸及び関係機関との連携
- (2) 広域搬送拠点臨時医療施設：SCU（Staging Care Unit）及び被災地外広域搬送拠点での運営等支援
- (3) 野外手術システムを搭載した艦艇を洋上医療拠点として活用する実証訓練の支援

3 訓練概要

- (1) DMA T（Disaster Medical Assistance Team：災害派遣医療チーム）及び患者等の広域医療搬送要領並びにSCU及び被災地外広域搬送拠点としての医療活動に係る運営等の支援要領を演練する。
- (2) 陸上自衛隊の野外手術システムを海上自衛隊輸送艦「しもきた」に搭載し、被災地周辺洋上の医療拠点として患者の搬送、患者への応急処置・安定化を施す等の実証訓練の支援

4 時 期

平成25年8月31日（土）

5 実施場所

愛知県、和歌山県、三重県、岐阜県、大阪府、仙台空港、県営名古屋飛行場、東京国際空港（羽田）、南紀白浜空港、八尾空港、小松飛行場、長崎空港、岐阜基地、三重県沖、伊勢志摩防災拠点及び周辺海・空域等

6 参加部隊等

合計：人員約420名、航空機等11機、艦艇1隻、車両等12両

(1) 幕僚監部：統合幕僚監部

人員約20名

(2) 陸上自衛隊：中部方面隊、東北方面隊、中央即応集団、通信団

人員約140名、車両7両（野外手術システム車両5両、救急車2両）、航空機等5機

(3) 海上自衛隊：自衛艦隊及びシステム通信隊群

人員約170名、航空機等1機、艦艇1隻、車両5両

(4) 航空自衛隊：航空総隊、航空支援集団、航空開発実験集団、航空機動衛生隊及び補給本部

人員約90名、航空機等5機、機動衛生ユニット1

7 関係機関等

内閣官房、内閣府（防災）、警察庁、消防庁、文部科学省、厚生労働省（DMAT事務局）、国土交通省、海上保安庁、宮城県、東京都、石川県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、長崎県、独立行政法人宇宙航空研究開発機構等